

県が行う赤井江の排水計画に伴って市も中心部、そして西部地区の排水計画に排水量を入れてもらい、五間堀から海に吐くような計画を出してみてもどうか。

市長 千載一遇のチャンスとして、赤井江からの放流をしていただくということでも相当努力はしています。担当も本当に一生懸命やっていることはぜひご理解いただきたいと思います。



赤井江

千載一遇やる方向か

問 千載一遇のチャンスでやる方向に行くのか、そうではなく基準値があるからやらないという方向に行くのか。

市長 赤井江からの放流は長い間の懸案でした。今回は5年ぐらいでめどを付けようと努力しており、これ

が解決して初めて、今までよりいい形に具現化できることであります。当然のことながら、中央部・西部も含めて岩沼全域の排水について排水計画を十分見直すということも考えていかなければなりません。

集団移転



大友 克寿

問 集団移転先を恵み野地区の西に決定したが、その他の移転先への希望もある。それについて、どのように対応していくのか。

市長 防災集団移転促進事業制度に基づいて対応していきたいと考えます。制度としては、5戸以上の世帯が移転をすることにすれば、移転先として認められます。一定の数の方々が、まとまって（移転したい）となれば、できるだけ具現化されるように協力をしていきたいと思えます。

問 集団移転地のまちづくりについて、居住者の意見

をどう反映していくのか。
市長 移転される方々を中心に、周辺の方々ともまちづくりについて検討する組織を設置して進めていきたいと思えます。

移転の希望に応えて

問 蒲崎・新浜地区の皆さんには、市道本町早股線沿いの仙台東部道路付近へ移転を希望する声が多数あると聞く。そのような希望にも応えていく必要があると思いがどうか。

市長 その場所については、あらためて地域の皆さまのご意見を頂き、できるだけ協力はしたいと思えます。ただ、圃場整備を実施中の地区（への移転）やインフラ整備に多額の費用が発生することは好ましくないので、制度の中にありますので、協力を頂きたいと思えます。

水道水の安全と汚染泥の処理



酒井 信幸

問 阿武隈川上流での除染活動が多くなる中で、除染して汚染された水や支流等から汚染水が流れ込むことが予想される。水道水は大丈夫かと市民は非常に不安に思っている。市はどう考えるか。

市長 相当注意深く見守って行かなければなりません。表流水取水に伴い、原水の放射能測定を引き続き進めます。

市民への説明責任は

問 水道水が安全ならば、行政の責任として市民への説明責任があると思うがどうか。

市長 問題がないことは、市のホームページやFMいわぬまでお知らせしています。心配される方は、問い合わせを頂きたいと思えます。

問 汚染泥を玉崎浄水場敷地内に管理しているが、玉崎町内会には説明しているのか。

水道事業所長 保管・管理状況及び周辺の空間放射線量の結果を報告し、安全性の理解をお願いしました。
問 濃縮され高い数値の汚

染泥が今後も出ると思われるが、どのような処置をするのか。

水道事業所長 環境汚染の対処に関する特別措置法に基づき国へ申請し、直轄処分をもらう手続になっています。



玉崎浄水場に保管されている汚泥

体育関連施設の運用



国井 宗和

問 大震災（地震・津波・原発事故）後の各施設の現状と利用不能施設はどこか。